

第1694号

2023年
12月5日

定価1部300円
定期購読
半年 5400円
1年 10000円
振替番号
00140-5-95121

労働新聞

http://japanlabor.party/ shinbun@japanlabor.party

日本労働党中央委員会機関紙

発行所 労働新聞社 本社 〒102-0072
東京都千代田区飯田橋4-1-5 ポザール飯田橋2階
編集発行人 高橋信 電話 03-3265-6506 / FAX 03-3265-6507

北海道支社
〒001-0033
札幌市北区北33条
西6-1-10-206
電話 011-558-4441

関西支社
〒532-0011
大阪市淀川区西中島5-8
-29チサン第3新大阪501
電話 06-6586-9920

九州支社
〒812-0042
福岡市博多区豊1-3-8-302
電話 092-483-1344



県民平和大会に1万人が結集した(那覇市・奥武山公園)



労働党員も各地から参加した

「対話による信頼こそ平和への道」

沖縄・青年が次代の県民運動の担い手に

「台湾有事」や「中国の脅威」などを口実に岸田政権が強行する沖縄など南西諸島へのミサイル配備などの軍備増強や米軍との大規模な共同訓練が繰り返される中、「沖縄を再び戦場にさせるな」の声を結集した大規模集会在11月23日、沖縄県那覇市で開かれた。

玉城デニー知事も集会に駆け付け「なぜ日本政府は沖縄の不条理に正面から向き合おうとしないのか。その不条理が存在する限り、絶対にひるまず行動し、平和のため声を上げ続けていこう。平和でなければ観光客は来ない。経済も回らない。シエルターにばかり逃げていたら勉強も、仕事もできない。子どもたちの未来が戦争の未来であってはならない。声を上げていこう。まきではないびらんどー(負けてはなりませんよ)」と訴えた。

沖縄県内70を超える市民団体や個人でつくる「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」が主催した「全国連帯!沖縄から発信しよう!11・23県民平和大会」の会場の奥武山公園陸上競技場には、県内や全国各地から約1万人の参加者が集った。

集会では、「県民の会」の瑞慶覧長敏・共同代表が「平和をつくるための心を一つにしよう。ミサイルやシエルターも要らない。この集会で声を大にして全国・全世界に平和を求めていこう」と開会のあいさつを行った。

「沖縄を再び戦場にさせない」という思いが詰まった今回の集会には若者や家族連れなど幅広い年代からの参加者が目立った。メイン集会の前段には若い世代のアーティストらによる島唄やポップスなどの音楽コンサートやエイサー隊の演技が行われ、集会を盛り上げた。わが党は、こうした沖縄県民の闘いと連帯し、激励する宣伝活動を行った。

昨年末の安保3文書の改定など岸田政権が進める軍備拡大、戦争準備に反対して「沖縄を再び戦場にさせるな」と県民運動を若い世代にも広げ、新たな幅広い県民運動を立ち上げていこうという昨年来の努力が集会成功の原動力となったといえる。

「沖縄の新たな闘いに呼応、連帯して全国各地で闘おう。米国に追隨して軍備拡大、戦争準備を進める岸田政権に反対する声を大きくしていこう。」(Y)

オスプレイ墜落事故糾弾、米軍と自衛隊はオスプレイを飛行禁止にし、全面撤去せよ!
労働党東京都委員会が声明(2面に要旨)